



東京都総務局大島支庁産業課農務係
清水 美香



職場(大島支庁)の紹介

東京都というと、新宿にある都庁や大都会をイメージしますが、東京都は伊豆諸島及び小笠原諸島に大小200余の島々があり、日本の海域の45%を占めているということは案外知られていません。その島々の中でも人々が生活している場所には大島支庁・三宅支庁・八丈支庁・小笠原支庁等の東京都の機関が設置され東京都の職員が働いています。

ここ大島支庁のある伊豆大島は、東京から南へ112km、伊豆半島に隣接する離島で、飛行機で35分、ジェット船で1時間45分の距離にあり、面積約91km²、人口約9千人の伊豆諸島最大の島で、また東京に最も近い島となっています。

大島支庁は伊豆諸島のうち大島・利島・新島・神津島を管轄しています。大島は、「あんこさん・椿・三原山」に代表されるとおり観光産業が盛んで、他には水産業、花卉園芸なども盛んです。畜産については、かつて養豚・酪農等盛んでしたが、現在は内地と同様に減少の一途をたどっているのが現状です。

大島の畜産については、町・農協に畜産専門の職員がいない状況の中、家畜保健衛生所(1)、中央普及センター大島支所(2)、支庁畜産担当(1)が協力して畜産業を維持していけるよう管内畜産業に携わる農家の方々と連携をとってがんばっています。

担当職務の紹介

私の所属は、東京都総務局大島支庁産業課農務係で、担当している業務は

- 1 農地法の施行に関する事務
 - 2 農業協同組合・農業共済団体指導
 - 3 農業委員会交付金等交付事業
 - 4 各種補助事業等
 - 5 畜産に関する業務
- です。

畜産に関する業務については、大島支庁管内で酪農家3戸、養豚1戸、養鶏7戸(100羽以上のみ記入)の他、馬、ダチョウ、個人飼養されている鶏などの飼養管理についての相談等を取り扱っています。

この畜産に関する業務の中で今頭を悩ましているのは、どこでも問題になっている家畜排せつ物処理の問題です。

大島は、三原火山の未熟砂質土で透水性がよく、保水力・保肥力が弱いため、河川らしい川はなく、また、地下水も同様に乏しいという状況となっています。そのため、問題視されている「水質汚染」はピンとこないのが実情です。また、農家も高齢化が進んでいるため、「家畜排せつ物処理法に基づく適正管理を!!」と声高に言っても、「地下水・河川汚染? って言われてもねー、じゃあ10頭以下にするよ。お金もないし、後継ぎも無いしね。」となってしまいます。ビニールシートを敷く方法では、作業性が悪くなるし、お金をかけて堆肥盤等を作っても何年か先には廃業せざるを得ないことが分かっている、どうすれば…と、法と現場とのギャップにうまく対応することができずジレンマに陥っていました。

そうした折、環境アドバイザー研修に参加させていただいた際、本多先生にこのことを相談したところ、「家畜の糞尿は産業廃棄物であることをよく理解してもらおうことだね」との助言をいただきました。現場は堆肥を製造・販売するという意識が薄く、糞処理してもタダいう意識が強いということを再認識し、研修後は島の農家の方とじっくり話し合いをするようになりました。

そんな中、堆肥舎施設等は設置されているにもかかわらず実態として堆肥生産・管理がうまくいっていなかった一農家において、家畜保健衛生所と普及センターの指導により、今年度特殊堆肥製造業者届を提出し、堆肥を販売できる体制が確立されるといううれしい出来事がありました。これを契機として今後は堆肥流通・利用促進のシステム作りを推進していきたいと考えています。

しかし、また一方で諸々の事情により縮小せざるを得ない農家が増えてしまうという悲しい現実もありました。

おわりに

大島に赴任して3年目になりますが、この3年の間に畜産農家が次々と廃業・縮小していく厳しい現実を突きつけられました。

経営者の高齢化、後継者不足、休みのない重労働、飼料の輸送コスト、島内流通・島外出荷の問題等等…、内地でも同様のことだとは思いますが、島という閉鎖環境では内地よりかなり深刻な問題となっています。

現在、都心部では大中規模の畜産経営は困難になってきています。また、島でも大中規模の畜産経営はコスト面から困難です。しかし、そうであるからといって東京に畜産は必要ないということではないと考えています。

現在都の方針としても、サイドビジネスや家畜の多面的な活用を検討していることから新しい畜産の形態を受け入れるとともに、今後の畜産のあり方について勉強し、現役農家の期待に答えられるよう努力していきたいと思えます。

大島では、3百万本の椿が開花する1月31日から3月28日までの間「第49回伊豆大島椿まつり」が行われ、盛りだくさんの楽しいイベントも開かれます。椿まつりをみながら「大島牛乳」のおいしさを味わいにぜひ一度お越しください。

